

生涯教育プレセミナーシラバス

科目名	死亡診断書	科目区分	時間	回数
担当講師	古川 真紀子	中級	90分	--

講義概要

診療情報管理士として病院に勤務していると、「死亡診断書」を目にする機会は少なくありません。作成の権限は医師・歯科医師に限られますが、その内容から「原死因」をコーディングすることは診療情報管理士の重要な業務のひとつです。

今回は、あらためて、「死亡診断書」がどのように利用されるのか・「死因」とは何かを確認します。昨今の医療・福祉に関する動きとあわせて「死亡診断書」に関して診療情報管理士が求められていることは何かを再考し、同時に「死因」についても再確認する機会としましょう。

講義の目標

- ・ 死亡診断書に関する最近の動きを知る
- ・ 「死因」についての考え方をあらためて理解する
- ・ 死亡診断書・死因コーディングにおいて、診療情報管理士が求められていることを理解する

講義内容

1. 死亡診断書とは何か、どのように利用されているのか
2. 死亡診断書における昨今の変化
3. 「死因」とは何か
4. 死亡診断書の問題点と診療情報管理士が求められていること

2018年度 生涯教育セミナーシラバス

科目名	診療情報データ活用論	科目区分	時間	回数
担当講師	久保 博文	中級	90分	--

講義概要

『診療情報管理士業務指針』には「退院時要約等を含めた多岐にわたる診療情報から有効に活用し得る情報を抽出して集積し、診療報酬等の情報と関連させて病院の運営に資するように分析することも行われる。」とある。また、診療情報に関わる様々なデータは、フォーマットが統一され公表されるようになったことで、これらデータを用いた分析が盛んに行われるようになり、医療マーケティング等で効果的に活用することが昨今求められている。そうした指針やニーズの以前から診療情報管理士が行う業務として疾病統計作成が挙げられる。

本講義では、自院が蓄積している退院時要約等を含めた診療情報を基にした疾病統計作成について解説し、作成方法のスキルを高める。中級ではあるが、やや初級よりの内容を予定している。

講義の目標

- ・疾病統計の再確認
- ・疾病統計作成方法と利用できるツールを知る。
- ・他院の事例を見ることで自院での作成のヒントにする。

講義内容

1.診療情報について

2.疾病統計作成方法

3.当院の事例